

決算特別委員会での主な 質疑・答弁

第3回定例会初日の9月3日、町長から提案された平成24年度城里町決算（7会計）について詳細に審査するため決算特別委員会が設置されました。
 決算審査は各議員が広く審議を行うことができるよう、常任委員会ごとの分科会方式により所管分の審査を行いました。各委員会での質疑・答弁等の主なものは次のとおりです。



総務民生常任委員会の審議状況

総務民生常任委員会

総務民生常任委員会は、会期中の9月4日に委員会を開催し、平成24年度一般会計決算の所管分・国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険特別会計の決算について審査しました。

（一般会計所管分）

歳入

問 貸付金元利収入で、42万4千円の返還がなかったが、どういうものなのか。

答 震災の時に家が壊れた等により貸出したものですが、償還期間の変更（期間延長）により返還がなかったものです。

問 行政財産使用料の場所は。

答 ホロルの湯、山桜、道の駅かつらの他、石塚地内の法定外公共物分です。

問 新市町村づくり支援事業補助金の内訳は。

答 徳蔵倉見線・池の内片山線・三ツ塩線の3路線分の補

助金になります。

歳出

問 常陽銀行窓口業務委託料105万円、毎年同じ金額なのか。窓口業務は変化しているのか。

答 平成19年度から毎年同じで、常陽銀行に委託している県内の町村はすべて同じ金額です。口座振込みやコンビニ収納は多くなりましたが、業務内容等の変化はありません。

問 水道事業会計補助の繰越明許費について、場所は。

答 こび山の水道機場から簡易水道場につなぐ部分になります。

問 入札不調12件の内容は。

答 道路災害復旧工事・河川修繕工事・橋梁橋脚補修工事・町道補修工事・建築関係になります。災害復旧で発注数が多かったです。

（国民健康保険特別会計）

問 施設整備費の内容は。

答 コンプレッサーと薬の分包機になります。

問 運営協議会費について、予算額の半額以上が不用品となつているが、協議会の年間の回数は。

答 年間3回分の予算をとっており、出席状況により報酬の不用額がでてきます。

（介護保険特別会計）

問 介護認定審査会費を減額修正しているが、審査会の回数が減つたのか。

答 同時に障害認定を行っており、そこから報酬が出ていたので、その分減額になりました。

問 歳入の臨時特例補助金の内訳は。

答 東日本大震災で保険料を減免した158名の4月から9月分の減免額に対しての国庫補助です。

教育産業常任委員会

教育産業常任委員会は、会期中の9月5日に委員会を開催し、平成24年度一般会計決算の所管分・公共下水道事業・農業集落排水事業・水道事業会計の決算について審査しました。



教育産業常任委員会の審議状況

(一般会計所管分)

歳入

問 学校給食費の収入未済について、平成17年度から平成23年度までの額が、平成16年度までの額の4倍にも増えているが理由は。

答 平成16年度までは非常に少なかった。城里町になつたとたん、平成17年度以降4倍近く増えたという傾向があります。

ります。督促方法は、督促状の他に、承諾をもたらつて子ども手当から充当しています。

問 町営住宅の収入未済について、滞納整理業務委託の効果はあるのか。

答 24年度から県の住宅管理センターに徴収委託したところ、23年度に対し24年度は170万円ほど減ってきております。

歳出

問 学校によつて違いがあるのか。督促方法は。

答 石塚小学校158万5千円、常北中学校150万3千円、桂中学校、七会中学校、桂小学校、七会小学校、幼稚園は若干の滞納がある。

問 ふれあいの里4人用キャビン2棟更新事業について、4人用は需要が少なくなっていると聞いているが、6人用や8人用のほうが良かったのでは。

答 3カ年計画で、今年度もこれから発注する予定。ご指摘を踏まえて検討していきます。

問 コミセンのトイレ改修工事の内容は。

答 ホールの女子トイレの改修で、半分を洋式・暖房便座・ウォシュレット付にして、身障者用トイレも暖房便座に改修。ロビーの女子トイレも直しました。

(水道事業会計)

問 最大稼働率、有収率、配水管使用効率について。

答 同じような人口規模の全国平均と比較し、最大稼働率70・96%に対し城里町69・68、有収率83・11%に対し城里町80・88%でほぼ同じだが、配水管使用効率は極端に違って、13・76m/mに対し城里町670・21m/mです。

問 上下水道お客様センターの効果について。

答 7月1日に開設し、料金の徴収業務、届け出の受付業務の他、未収金対策を委託しております。

問 水道課、下水道課で統合して未収金対策しているのか。

答 水道課1本でシステム統合しており、担当同士も連携しながらやっています。

問 (農業集落排水事業特別会計) 古内地区の受益者負担金、処理戸数について。

答 受益者負担金は33万5千円、処理戸数は実際には272戸で事業者が3件。宅内工事は70件が申し込みして、36件が接続しています。